

● 世界の主な火山活動

平成 23 年（2011 年）8 月に噴火したと報告された主な火山（日本を除く）は下図のとおりである。

エトナ（イタリア）（図中 A）

7 月に活発化した活動は 8 月も消長を繰り返しながら継続した。新たな南東火口（かつての南東火口丘の東山腹に位置）では溶岩流、溶岩噴泉及び火山弾等の噴出を伴う突発的な噴火が 4 回発生した。溶岩噴泉の高さは最大で 500m 以上に達した。

カラングタン（インドネシア）（図中 B）

7 月 8 日に水蒸気爆発が発生した後、高温物質の噴出がみられていた。8 月 7 日には噴火に伴う音響が確認された。最近の表面現象及び地震活動の増加に基づき 8 月 8 日に警戒レベルが引き上げられ、山腹の居住者約 600 人が避難した。

（以上、米国スミソニアン自然史博物館の GVP（Global Volcanism Program）による。日付は全て現地時間。火山名の読み方は、原則として気象庁：「火山観測指針（参考編）」による。）

